

# ほんしよ へんしゅう し かた つか かた 本書の編集の仕方と使い方

(Paratan ng Paggamit sa Libro ng Ito)  
本書の編集の仕方と使い方

- 本書のフィリピン語は、日本（栃木県）において本書を手にする児童生徒のほとんどが、フィリピン国とつながりをもつ児童生徒であることを念頭において、フィリピンで使用されているフィリピン語を標準としました。
- フィリピン語の単語は、単数表記を基本とし、性数のある形容詞及び名詞は、男性・単数を基本としました。
- 関連のある名詞は、フィリピン語引きにおいて、学習しやすいようにまとまって並ぶよう工夫しました。

例)

日本語引き	フィリピン語引き
否定文	pangungusap na patanggi
疑問文	pangungusap na patanong
単文	pangungusap na payak
重文	pangungusap na tambalan
英文	pangungusap sa Ingles

- フィリピン語では、技術、化学及び科学用語の多くは英語とスペイン語に由来し、それらの単語は発音を基準にフィリピンの書き方に置かれています。

例)

日本語	英語	フィリピン語
座標	coordinate axis	koordinet aksis
係数	coefficient	koepisyent
反動	reaction	reaksyon
日本語	スペイン語	フィリピン語
沈降	sedimentacion	sedimentasyon
沈殿	precipitacion	presipitasyon
距離	distancia	distansya

- また、「化学物質」など、上記のように書くのと分りにくくなる単語、あるいは適切なフィリピン語がない場合は、英語の単語を使うことにしています。

例)

日本語	英語	フィリピン語
亜鉛	zinc	zinc
アルゴン	argon	argon
熱分解	pyrolysis	pyrolysis
試験管	test tube	test tube

- 重要な単語については、絵や図を用いて視覚的に理解ができるよう別冊を作成しました。日本語引きに掲載してあるフィリピン語の隣の番号は、別冊の絵や図中の番号で確認できるようにしました。